



オンライン教材「社会課題・ビジネス課題解決のためのデータリテラシー講座」の概要

1. プログラムの概要

経済産業省「DX リテラシー標準」におけるデータに関する4項目（「社会におけるデータ」「データを読む・説明する」「データを扱う」「データによって判断する」）について、講義とケーススタディを通して学習するプログラム。

ハンズオン（演習）を取り入れることで実務との連関が可能となるなど、実践的なカリキュラムとなっている。

2. 構成

- (1) ビデオ教材（スライド＋ナレーション）
- (2) ケーススタディ（エクセル演習）
- (3) 確認テスト
- (4) 修了テスト

3. 提供開始予定

2023年4月10日

4. 提供期間

購入から60日間有効

5. 価格（予定）

1名（1ID）あたり3万円（税別）

6. 受講方法

株式会社 zero to one (<https://zero2one.jp/product/data-literacy/>) にて販売

7. カリキュラム（計20～30時間程度）

- (1) データサイエンスの全体像
- (2) 社会におけるデータ
- (3) データ分析の手法1
- (4) データ分析の手法2
- (5) データベースの基礎
- (6) データ収集・加工
- (7) ビジネス活用に向けて
- (8) データ分析の実践

以上

オンライン教材「社会課題・ビジネス課題解決のためのデータリテラシー講座」開発背景

株式会社 zero to one

AI やデジタル分野の教育コンテンツについて、上場企業を中心に延べ 400 社、10,000 名以上に提供してまいりました。これまで日本ディープラーニング協会「E 資格」向けの認定プログラムなど、エンジニアを中心とした理系人材向けの教材を提供してきましたが、近年、非理系の方を中心に、AI やデータ分析の教材へのニーズが高まっていることなどを踏まえ、この度、新たにデータリテラシーを学べる教材の開発に着手いたしました。

東北電力株式会社

スマート社会実現事業への転換を可能とする DX 戦略の一環として、「デジタル人財育成戦略」を策定し、全社員を対象にデジタルリテラシー強化や、新たな価値を創造する人財の育成を進めてきた中で、社内研修において、ビジネスシーンにおけるデータ活用に特化したプログラムを導入したいと考えたものです。本コースの開発にあたっては、カリキュラム策定や教材開発、ケーススタディ用のデータ提供、さらに社員向けデモ講義の実施など、開発の初期段階から参画しております。

東北大学データサイエンスカレッジ（運営主体：東北大学ナレッジキャスト株式会社）

東北大学教員による「データサイエンティスト養成のための社会人リカレント教育スクール」として、2022 年 10 月に開校しました。東北大学 DSC は本コースを監修することで、社会人を対象とした「データサイエンス教育」をスタート地点からサポートしたいと考えております。4 月 10 日のリリース後は、「オンデマンドコース」の 1 つとして開講し、データリテラシーの浸透をさらに進めてまいります。

【三者の連携イメージ】

